



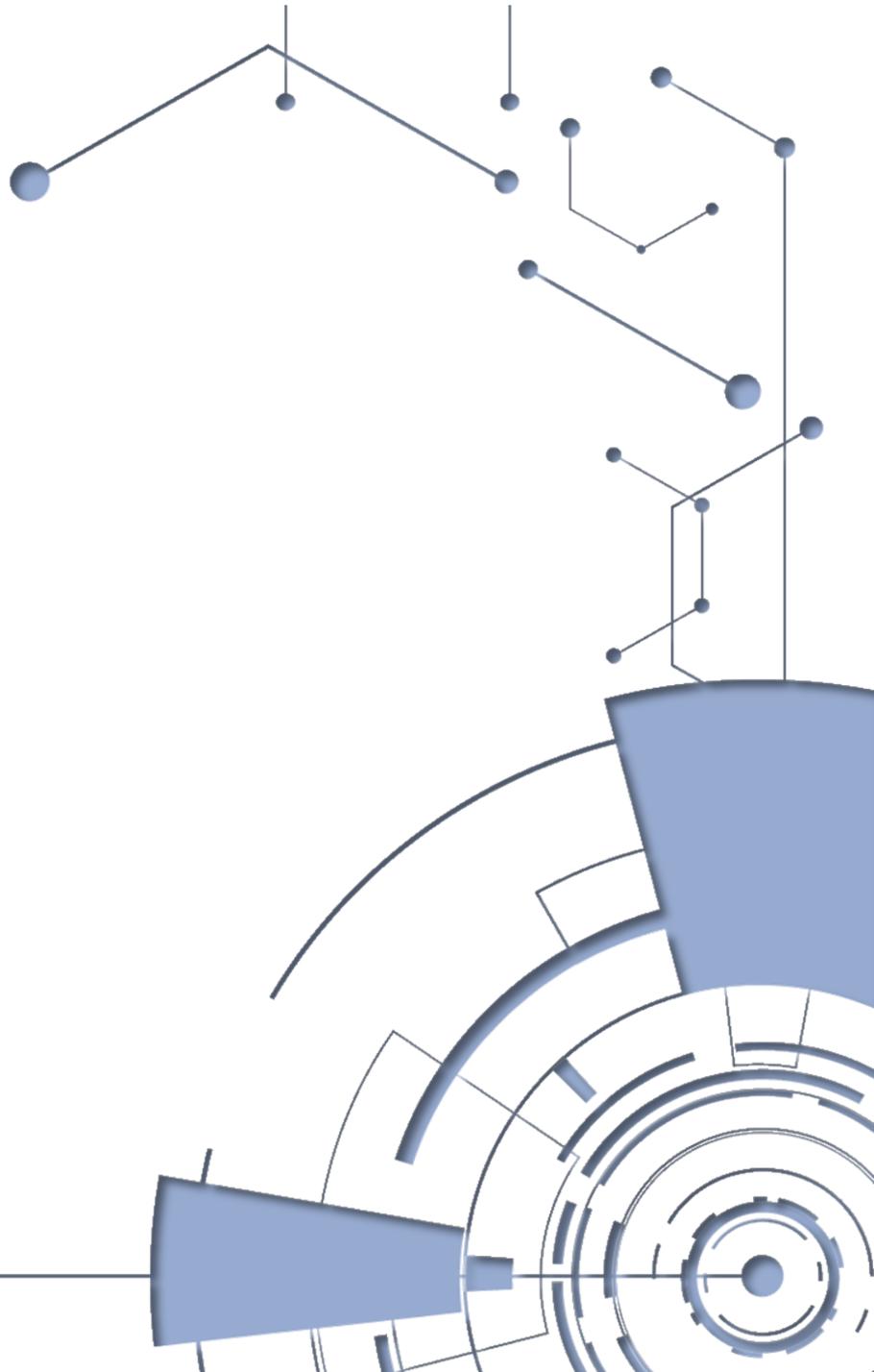
証券コード：3997

株式会社トレードワークス

2021年12月期

決算説明資料

2022年2月10日



1. 2021年12月期 概況
2. 中期経営計画
3. 2022年12月期 業績予想
4. 参考資料

1. 2021年12月期 概況

2021年12月期 業績

売上高

2,553百万円

前期比21.0%増 

営業利益

287百万円

前期比168.4%増 

当期純利益

189百万円

前期比159.1%増 

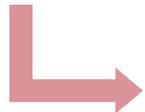
- ・既存顧客からの継続的な発注、**新規顧客増により増収。**
- ・データセンターのコスト改善により適正原価を推進。
- ・また、人員配置などのプロジェクト管理力が高まり**大幅増益。**

株主還元

2021年12月期 期末配当（1株）は、業績向上を踏まえ、
10円増配し15円。

成長戦略の更なる推進

- ビジネスモデル改革によりストックモデルの導入を強化
- データセンターなど戦略投資の継続
- 主軸事業の深耕、領域の拡大
- 新領域への進出、事業確立
- 働き方改革、人手不足解消など生産性向上策といった高需要領域進出
- ニューノーマル時代への戦略強化



当社が有するシステム開発ノウハウのうち、
新たなビジネスに活用できるものを見出しスタートを開始。

収益性UPへの取り組みを強化

- プロジェクトマネジメント力の更なる強化
- 金融知識を有するエンジニア、自社開発力を強化
- 人材獲得、金融知識・技術教育の充実、強化
- 顧客資産、技術情報連携体制の強化、確立



収益向上に向けた取り組みが着実に進捗し、
金融ソリューション事業の収益性UPに大きく貢献。

● 2021年12月期 業績ハイライト



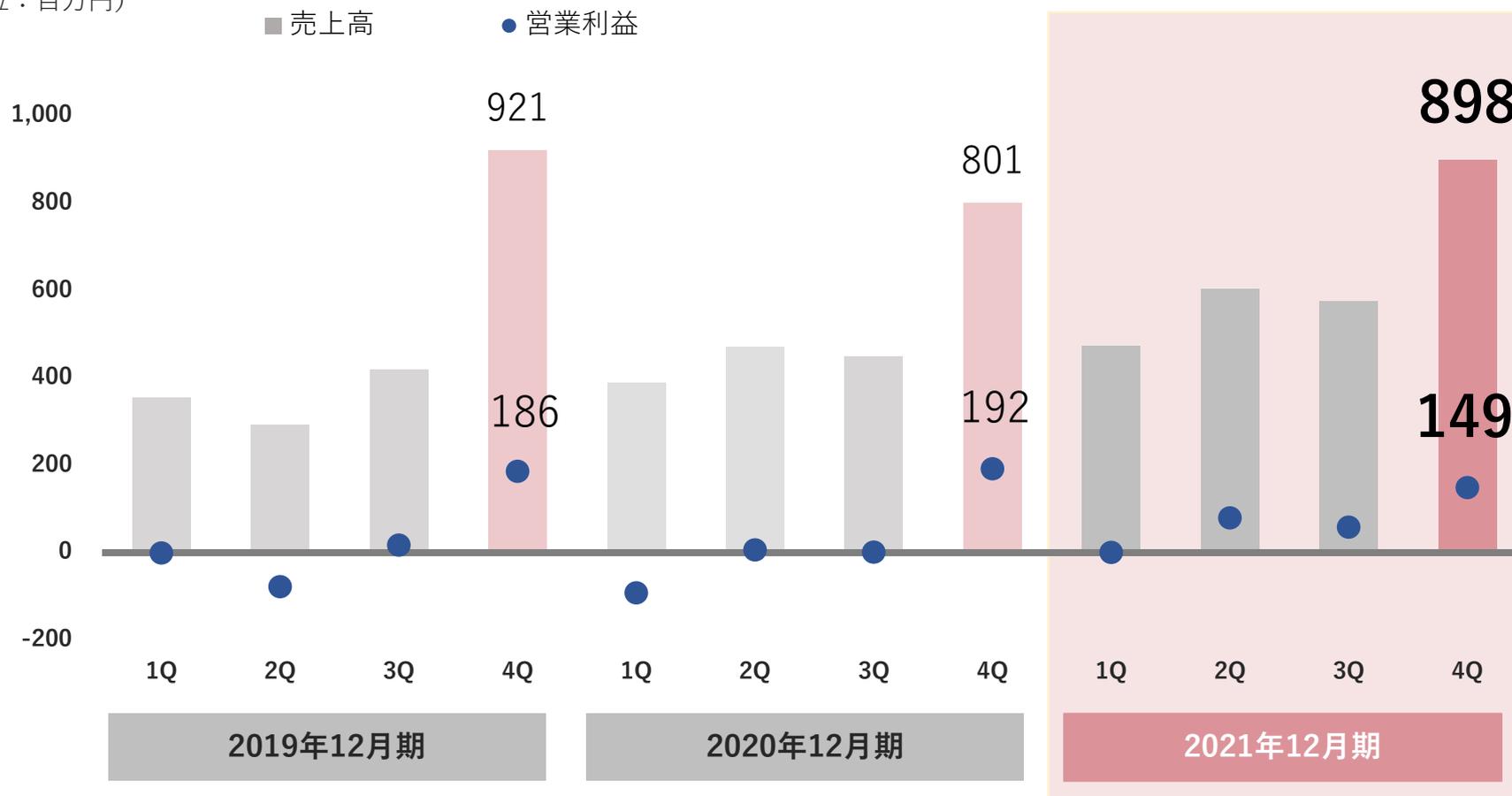
増収効果に加え、好調な採用を背景としたプロジェクトごとの採算性が向上、データセンターのコスト安定により大幅増益。

(単位：百万円)		2020.12期		2021.12期		増減額	前年同期比
売上高		2,110		2,553		443	21.0%
原価	原価率	1,603	76.0%	1,853	72.6%	250	15.6%
売上総利益		507		699		192	37.9%
販管費	販管費率	399	18.9%	411	16.1%	11	3.0%
営業利益	利益率	107	5.1%	287	11.3%	180	168.4%
経常利益	利益率	107	5.1%	289	11.3%	181	167.8%
当期純利益	利益率	73	3.5%	189	7.4%	116	159.1%

● 売上高・営業利益（四半期推移）

コロナ禍において開発プロジェクトの進捗に影響のあった前年から回復傾向。
4Qの売上は前年同期から増収、営業利益は微減となるものの通期を通して
大幅な増益となる。

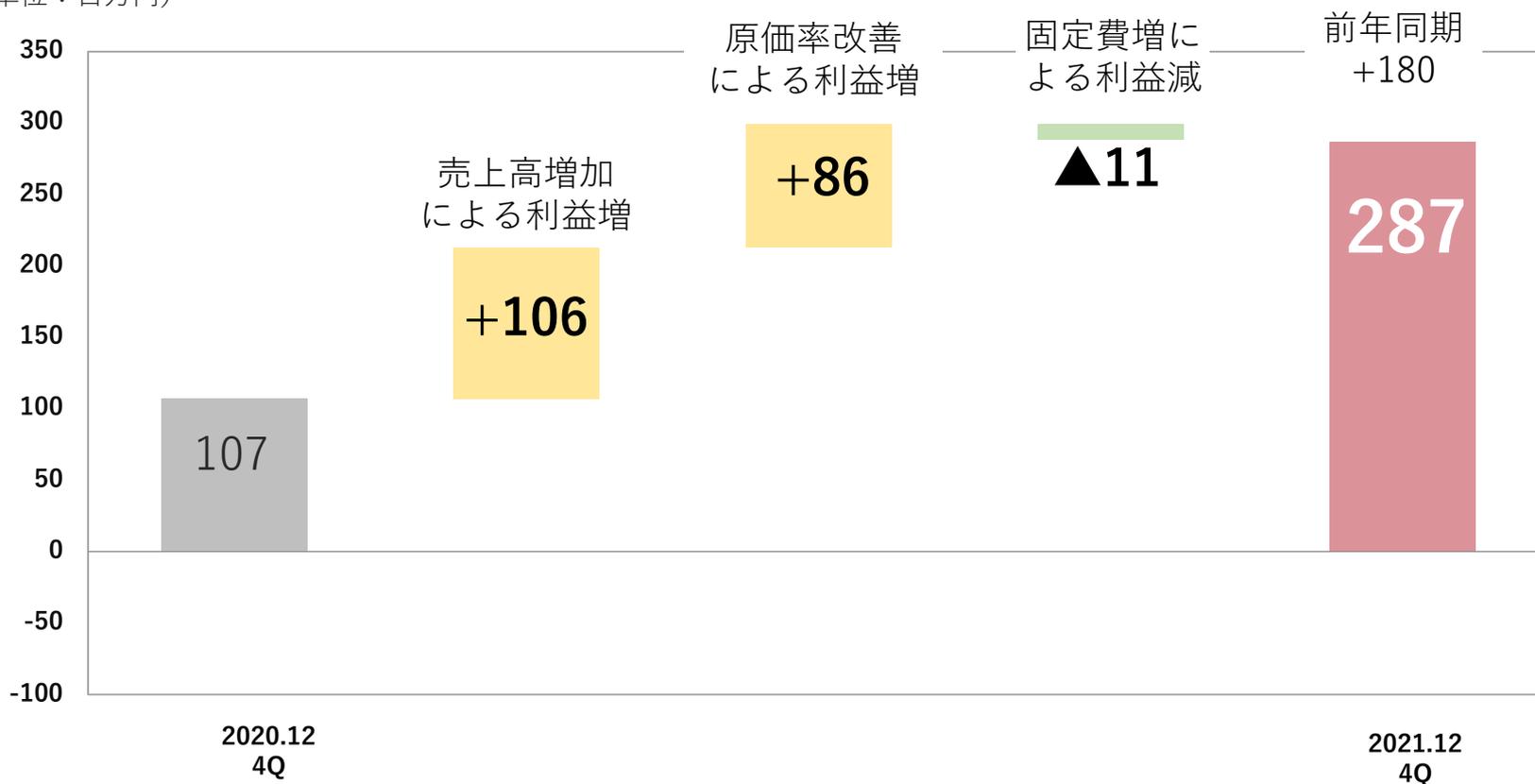
(単位：百万円)



● 営業利益増加要因

増収効果、原価コントロール、販売管理費抑制が良好に推移した結果、前期比で、180百万円営業利益が上昇

(単位：百万円)



● 貸借対照表



(単位：百万円)

	2020.12期	2021.12期	増減額
流動資産	1,241	1,529	288
現金及び預金	835	802	▲33
売掛金	334	597	262
固定資産	566	569	2
有形固定資産	92	87	▲4
無形固定資産	282	229	▲52
投資その他の資産	191	252	60
資産合計	1,807	2,098	290

	2020.12期	2021.12期	増減額
流動負債	206	311	105
買掛金	81	107	25
未払法人税	27	89	61
固定負債	71	80	9
純資産合計	1,529	1,706	176
負債・純資産合計	1,807	2,098	290

2. 中期経営計画

● 中期経営計画 2022年～2026年



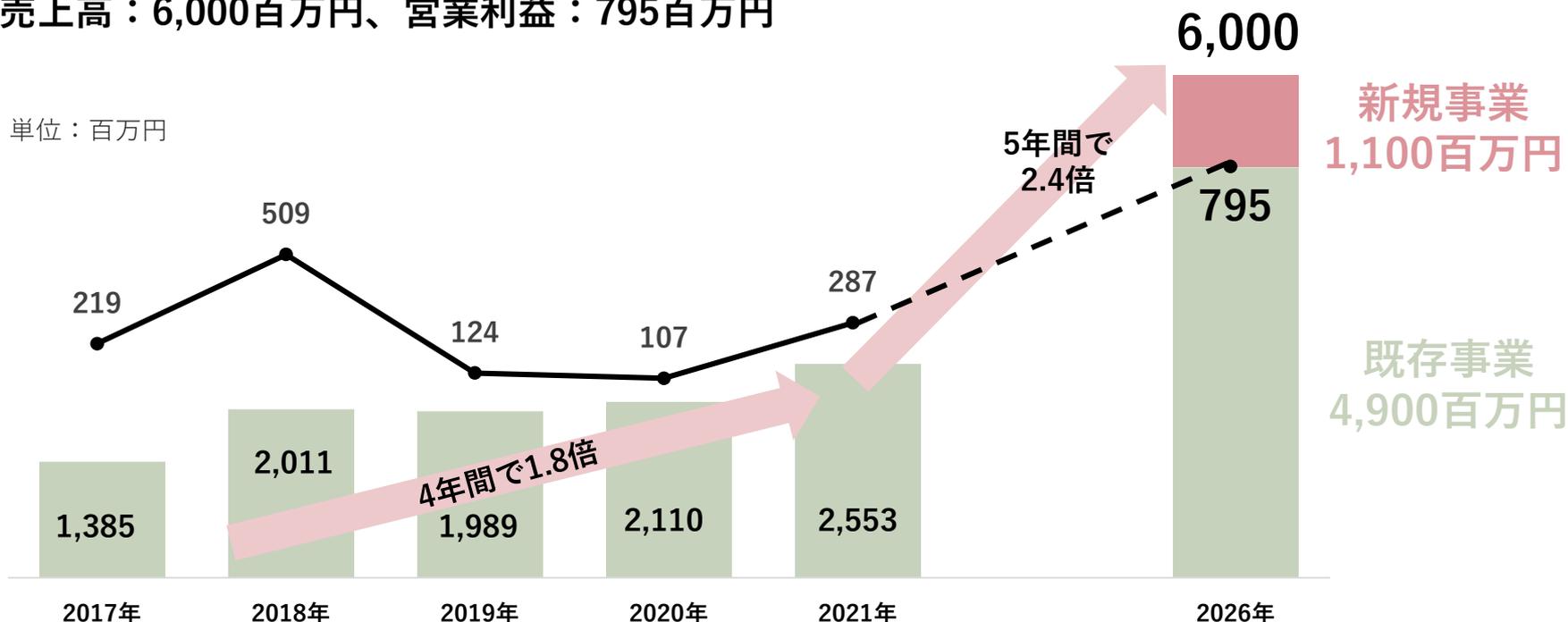
永続的な成長の礎を築くための計画として、2026年12月期を最終年度とする「中期経営計画」を策定。

テクノロジーファーストを遂行し、金融領域+ α で2021年12月期比、2.4倍の企業規模を目指します。

2026年12月期目標

売上高：6,000百万円、営業利益：795百万円

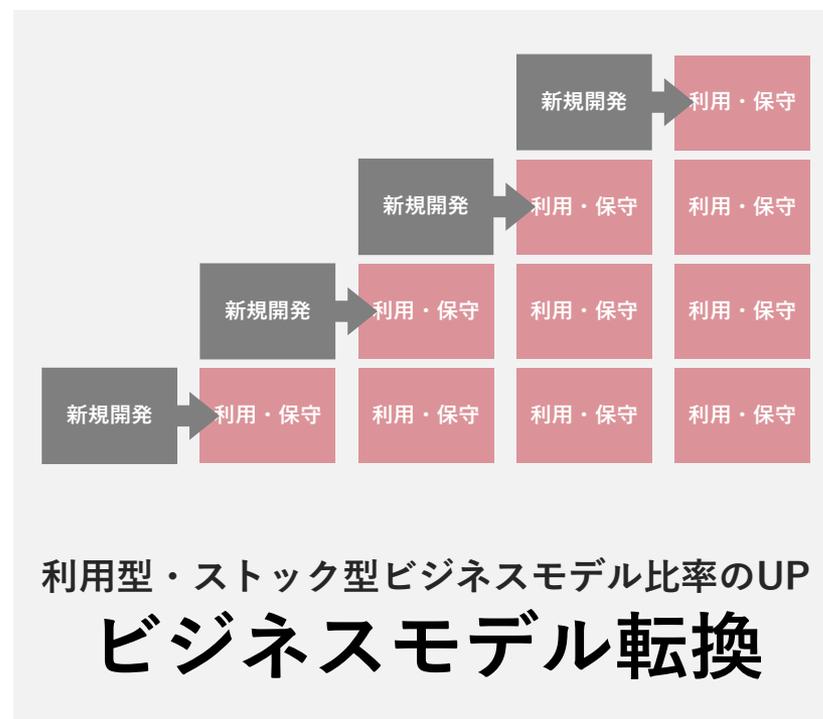
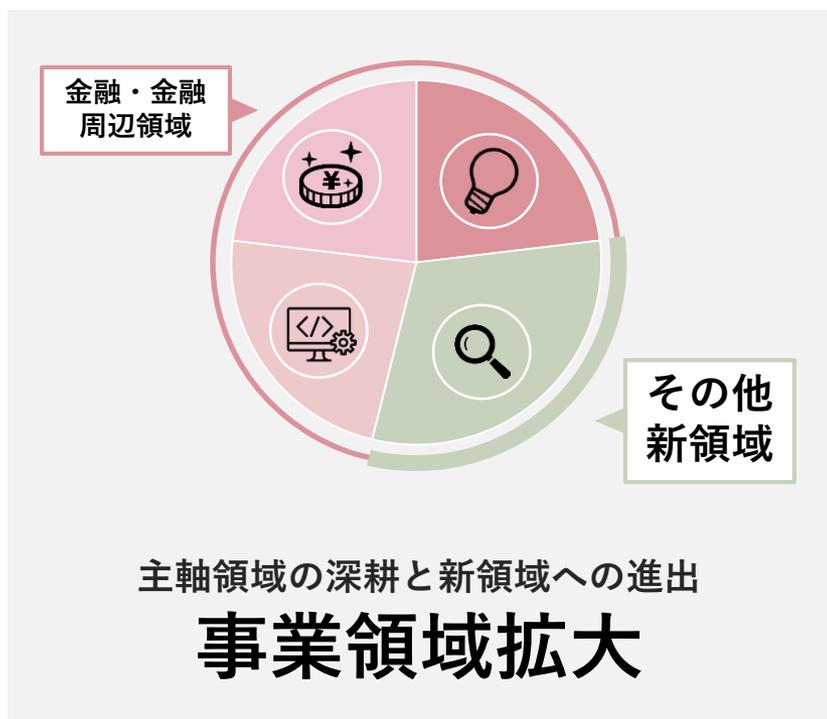
単位：百万円



当社の目指す姿①

持続的な成長を目指し2つの戦略を実施

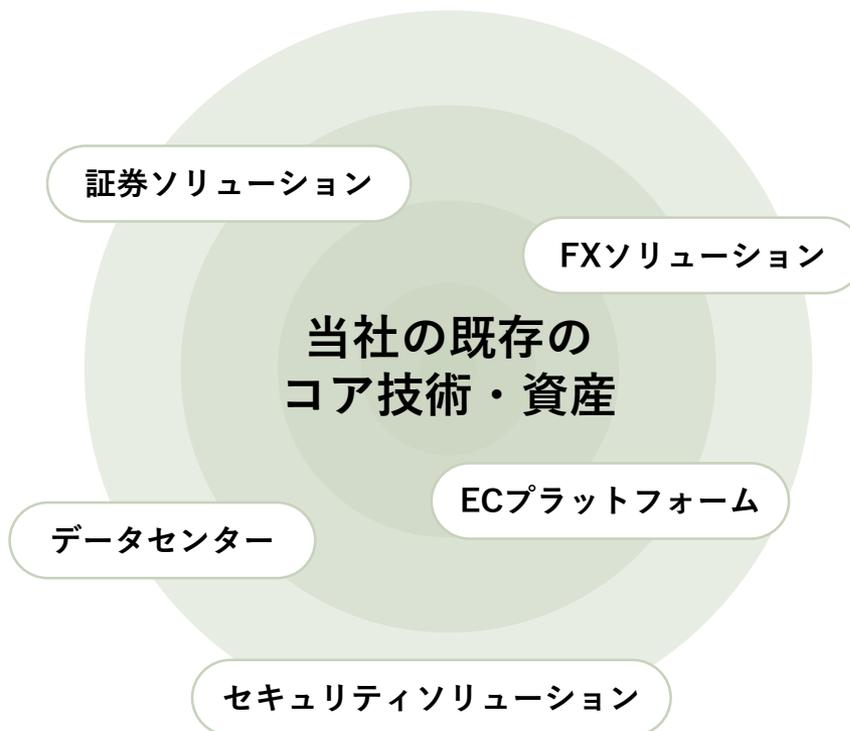
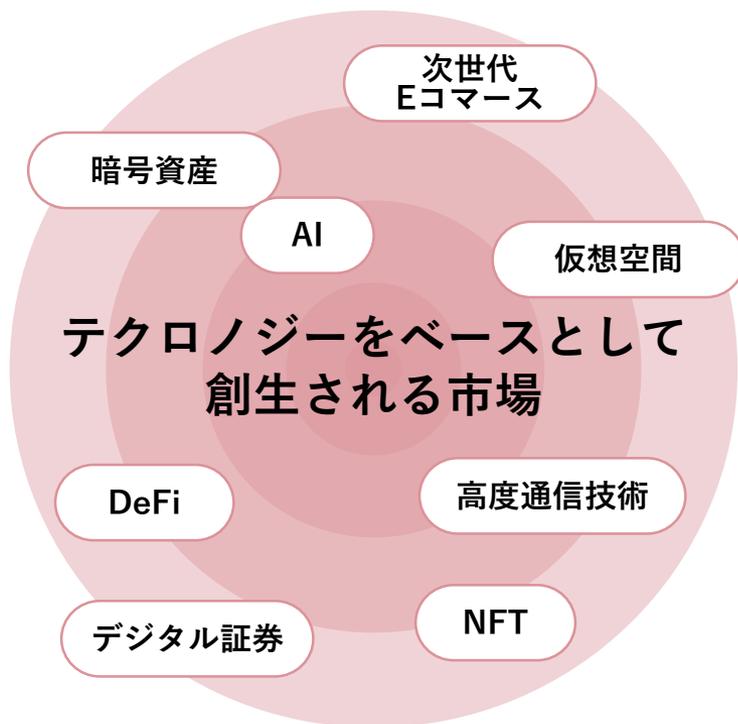
技術と金融知識を持ち合わせた専門性の高い集団



2つの戦略を継続して実施し、規模、収益力を拡大

当社の目指す姿②

次世代金融、新デジタル時代を見据えた
テクノロジー・ファースト型の企業成長



目標数値

既存事業におけるストック率の向上

- ストック売上高目標 **3,074**百万円 (2021年12月期：1,400百万円)
- 既存事業におけるストック売上高比率 **62.7%** (2021年12月期：56.0%)

新規事業の育成

- 新規事業売上目標 **1,100**百万円

新規事業の育成

- エンジニア数 **210**人 (2021年12月期：90人)

2022年12月期の位置づけ

着実な拡大＋成長の足掛かりとなる基盤構築を遂行

5年で、2.4倍の企業規模の拡大を成し遂げるため
既存事業の拡大、新規事業の本格展開開始に加え、
フィンテックなどをはじめとする次世代への取り組みを開始。

重点施策

- ✓ 主軸事業の深耕、証券インターネット取引システム領域のシェア拡大
- ✓ 新事業の収益化に向け、事業者との資本・業務提携の関係強化
- ✓ AI、IoT技術の利用や、フィンテックによる新しいサービスの開発
- ✓ 働き方改革、人手不足解消など生産性向上策といった高需要領域進出

3. 2022年12月期 業績予想

● 2022年12月期 業績予想



17.5%増収&5か年中期経営計画の達成に向けた先行投資を遂行。
永続的な成長と持続可能な社会の実現に貢献しつつ、
中期経営計画初年度にあたり、確実な通期計画の達成を目指します。

(単位：百万円)

	2020.12期	2021.12期	2022.12期 (予)
売上高	2,110	2,553	3,000
営業利益	107	287	240
経常利益	107	289	240
当期純利益	73	189	150

2022年12月期の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用するため、上記の業績予想は当該会計基準等を適用した後の金額となっており、対前期増減率は記載しておりません。

● 株主還元について



経営基盤の強化を最優先し、
将来の事業展開と内部留保とのバランスを考慮し、利益配分を実施

1株あたり15円を予定

	2020.12期	2021.12期	2022.12期 (予)
配当金 (1株)	5円	15円	15円

4. 参考資料

当社の主軸である金融・証券業界のIT投資意欲は、コロナ禍においても旺盛

新型コロナウイルス感染症拡大の中、市場資金等の流入により、
金融取引市場は活況

① フィンテックによる金融業界新規参入業者の増加



② 5G通信の商用サービス国内4キャリアでスタート



③ 金融システムのセキュリティに関する事案の増加



④ 証券会社システム強化への機運の兆し



技術と金融知識を持ち合わせた 専門性の高い集団

技術

- 最新テクノロジー
- ビッグデータ
- バーチャルリアリティ
- 音声認識
- AI
- RPA
- Fintech
- クラウド



金融知識

- 株式
- FX・CFD
- 仮想通貨
- 投資信託
- 保険
- 年金



ビジネスモデル改革を進め

- ① 予期せぬ不採算案件の発生
- ② 製品及びサービスへの品質・価格に対する顧客からの要請
- ③ 同業他社との競争激化

に準備、対処し収益性向上を図ります。



技術者育成 + 環境整備
全社横断 品質・生産性向上

当該資料は当社の会社内容を説明するために作成されたものであり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。

また、本資料に記載されている将来の予測等に関する記述は、資料作成時点で入手している情報に基づき当社が判断したものであり、その情報の正確性を保証するものではありません。投資を行う際には、投資家ご自身の判断で行っていただきますようお願いいたします。

<本資料に関するお問い合わせ先>

株式会社トレードワークス
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-105
神保町三井ビルディング9F
TEL :03-5259-6611 FAX:03-5259-6612
<https://www.tworks.co.jp/>